

【教科名】情報処理 Computer Processing	【学年・学科】2年・物質化学工学科
【担当教員】山根 大和	【単位数・期間】(必修) 2単位・通年(週2時間)で合計60時間
【教員室】7号館 2階	【TEL】964-7307
	【e-mail】hyamane@kct.ac.jp

【授業目的と概要】

化学系研究者・技術者のコンピュータ利用方法として、ワープロ・表計算・インターネットなどの基本的な利用方法を学習し、プレゼンテーションの道具としてコンピュータを十分に活用できるコンピュータリテラシー(データを収集、加工して必要な情報を作り出し、発信する能力)を身に付ける。また、化学の学習や実験のデータ処理に活用できるプログラミングの初歩を習得する目的で、ExcelのVisual Basicを学習する

【授業の進め方及び履修上の注意】(準備する道具や前提となる知識)

前期は、Windowsの基本操作から、日本語入力、ファイルの取扱い、インターネット、ワープロ、表計算、プレゼンテーションまで、演習問題を通して、コンピュータ利用の基礎をマスターする。

後期は、Excel VBAの基本的な使い方から始めて、Excel VBAの文法を解説した後、VBAプログラムによる基本的な数値計算技法を説明し、実際の化学の学習や実験データ処理などに利用可能な実用的プログラミングの例題を扱っていく。

授 業 項 目	内 容	時 間	教育目標との対応
【前期】			(本校) (JABEE)
・Windows 入門	・パソコン入門・Windowsの基本操作	4	B,C
	・日本語入力と文書の保存・ペイントによる絵の作成	4	
	・ファイルの操作と整理	2	
・応用ソフト入門 (前期中間試験)	・インターネット・電子メール	4	
		2	
	・Word 入門	4	
	・Excel 入門	4	
	・PowerPoint 入門	4	
	・プレゼンテーション	2	
期末試験		2	
【後期】			
・Excel VBA 入門	・Excel VBA とは	2	B,C
	・Visual Basic Editor	4	
	・マクロの記録による作成	4	
	・Visual Basic Editor でのマクロ作成	4	
	・	2	
(後期中間試験)	・ワークシートやセルの操作	4	
	・より高度な処理	4	
	・数値計算の基本的な手法	2	
	・化学の計算・データ処理	4	
期末試験			

【達成目標】

化学系研究者・技術者の道具としてコンピュータを十分に活用できるコンピュータ利用の基礎をマスターする。

目標達成度は100%とする。

北九州高専目標：(B),(C) JABEE 基準 1(1)：対象外

【教科書】

演習で学ぶ IT 入門：化学同人 著者：倉元博美 他
Microsoft Excel セミナーテキスト VBA 入門編：日経 BP ソフトプレス

【参考書】

成績
評価

【評価基準】

Windowsの基本操作から、日本語入力、ファイルの取扱い、インターネット、ワープロ、表計算、プログラミング(Excel VBA)の初歩を修得していること。

【評価方法】

中間及び期末試験 70%、レポート等 30%、60点以上を合格とする。

【オフィスアワー】

放課後

